

SPA100シリーズでのファックスのトラブルシューティング

目的

この記事では、SPA100シリーズ電話アダプタでFAXの送受信に問題がある場合にFAXをトラブルシューティングする方法について説明します。ファックスコールが正常に動作するには、ATAと対応するファックスマシンの両方を正しく設定する必要があります。ユーザがFAXの送受信に問題がある場合は、この記事で説明する手順に従ってください。

該当するデバイス

- ・ SPA100シリーズ電話アダプタ

[Software Version]

- ・ v1.1.0

ファックスのトラブルシューティング

ファックス機の種類

注：ファックス機器の最適な速度は、7200 ~ 14400 bpsの間で設定されます。エラー訂正ECMがオフの状態では速度を9600 bpsに設定した方が優れています。最新のファックス機器には、受信したフレームの破損データを評価するECM機能があります。何かが検出された場合は、エラーフリーフレームが受信されるまで再送信信号が送信されます。

ステップ1：ファックス機器のグラフィカルユーザインターフェイス(GUI)で、[Setup] > [Advanced Fax Setup] > [Fax speed]を選択し、[Fax Speed]フィールドに目的の範囲の速度を入力します。ファックス機は異なるレートでデータを送信します。ファックス機器の速度を確認し、最適な速度範囲の間にあることを確認します。

ファックスのテストの実行

ステップ2:[Tools]に移動し、[Run Fax Test]を選択して、2つのATA間でテスト用FAXを送信し、FAXマシンをテストします。

設定ファイルの保存

ステップ3：ユーザがFAXを送受信する際の成功率を決定し、テストが成功した場合は設定を保存します。

ステップ4：ユーザがネットワークを監視している間のジッタ、損失、および遅延の統計情報を記録します。

- ・ Jitter：ネットワークジッタは、ATAによるジッタバッファサイズの調整方法を決定します。ジッタバッファは、ジッタバッファサイズが調整されるレートを制御します。記録できる値は、低、中、高、非常に高、および非常に高です。

- ・ Loss : データパスに沿ったパケットの損失により、音声アプリケーションが著しく低下します。
- ・ Delay – ネットワーク内のポイントツーポイントにかかった時間。

ステップ5 : ユーザがFAXの送受信に一貫して失敗する場合は、ATAに接続しているFAX装置のユーザの種類を特定し、テクニカルサポートに連絡して、詳細を確認してください。現在の設定をコピーし、テクニカルサポートにファイルを送信します。